

## IV 2012（平成24）年度「全学教員研修会」実施報告

### 1. 実施概要

■日時： 2013（平成25）年3月6日（水） 10：00～12：00

■場所： 京都ノートルダム女子大学

〈第Ⅰ部〉 社会学習センター2

〈第Ⅱ部〉 英語英文学科＋国際教育センター・・・テレジア館3階 英文科会議室  
人間文化学科＋カトリック教育センター・ソフィア館5階 教員ラウンジ  
生活福祉文化学部・・・・・・・・・・ユニソン会館 社会学習センター2  
心理学部・・・・・・・・・・ ユージニア館 第2会議室

■内容：

〈第Ⅰ部〉

「学生の主体的な学びを引き出すために  
～主体性を引き出す授業デザイン・教育方法とは～」

2012（平成24）年8月26日に中央教育審議会より提出された「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」をもとに4～5人の計13グループでディスカッションを行った。  
各グループでテーマを決定し話し合った後、グループが簡単な発表を行った。

〈第Ⅱ部〉

学部・学科ごとに分かれ、「授業評価アンケート」の結果をもとに1)学部・学科の科目を全体的にみた現状、2)長所と改善点、3)改善の方策、4)今後の課題についてディスカッションを行った。

### 2. 実施報告

〈第Ⅰ部〉

【取り上げられたテーマ】

「学生の主体的な学びを引き出す工夫」「学修時間の確保」「課題解決型の能動的学修（アクティブ・ラーニング）」「初年次からの体験型授業」「情報教育」など

【発表内容】

1) テーマ「学修時間の確保」

学生は学修時間確保の必要性を理解していないのではないかという議論から始まり、学生が自ら学修時間を確保するためのモチベーションを上げる方策について話し合われた。

2) テーマ「学生の主体的な学びを引き出す工夫」

主体的な学びを引き出すために、自主的学習をどう実践するかが話し合われ、①入学時の意識付、②学生自身に学習成果が見えるよう工夫する、③自主性を高めるために個別対応をおこなう、等の意見が出された。

〈第Ⅱ部〉

ディスカッションの内容は本報告書（第Ⅰ-4章～第Ⅰ-7章）に記載

■出席者数：

出席者	人間文化学部		生活福祉文化学部	心理学部	各センター	現員数	参加率
	英語英文	人間文化					
64	11	10	16	20	7	68	94.1%